シラバス参照

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT2601		
科目名	危機管理基礎演習Ⅰ		
担当教員	大八木　時広		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火３		
講義室	1312	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 ＤＰ３－H[論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 ＤＰ４－F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 ＤＰ４－I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ＤＰ６－K[表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1　学識と専門技能-20% F1　探求力-10% F2　課題解決-10% H1　論理的思考-10% H2　批判的思考-10% I1　理解・分析と読解-10% I2　量的分析-5% I3　情報分析-5% K1　ライティング・コミュニケーション-10% K2　オーラル・コミュニケーション-10%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標とステージとの対応 2進行期～3発展期		
科目概要・キーワード	危機管理の研究領域の中から、学生個人がそれぞれ１つの研究テーマを構築するのに必要なスキルと知識を統合的に学ぶために、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学系科目、又は、専門展開科目における災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ若しくは情報セキュリティに属する危機管理系科目を担当する教員が「個別クラス」を担当し、教員の研究領域の特性に即して研究手法等を指導します。３年次以降のゼミナールにおける、より専門的な研究活動への橋渡しの意味をもちます。本科目では、研究のテーマ決定や研究計画の検討からはじめて、研究を進め、その成果をプレゼンテーションによって表現することまでを行います。授業形態は演習形式により行いま		

<table>
<tr><td></td><td>す。なお，対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。
■　キーワード　危機管理、研究テーマの構築、ゼミナールへの橋渡し</td></tr>
<tr><td>授業の趣旨</td><td>■副題
グループワークで専門的な研究に必要なスキルを磨きます。
■授業の目的
危機管理に関する研究テーマの探求、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行うことを目的とします。将来のキャリアを見据えた学びにおいて、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚を持つことも望まれます。
■授業のポイント
やや専門的な文献を読解、資料を収集・解析、グループワークを深めることに重点を置きます。</td></tr>
<tr><td>総合到達目標</td><td>■ 旺盛な関心をもって危機管理学及びそれを支える諸科学における重要問題を探求し、これを科学的な手法によって分析し、又は論理的に解釈して知見を見出すとともに、その成果を適切に表現することができる。
・課題を適切に設定することができる。(第2～15回)
・問題探求に必要な資料とデータを検索することができる。(第2～15回)
・問題探求に必要な資料とデータから、有用な知識と情報を取り出すことができる。(第2～15回)
・入手した情報とデータを客観的かつ科学的に分析することができる。。(第2～15回)
・分析結果を適切かつ簡潔に表現・提示することができる。(第2～15回)</td></tr>
<tr><td>成績評価方法</td><td>■ レポート2回(40%)
(評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身についているか、授業テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。
(フィードバック方法) 解説は後日、クラスルームで配布します。
■ リアクションペーパー15回(60%)
(評価の観点) 単元ごとの理解度を図ります。
(フィードバック方法) 解説は後日、クラスルームで配布します。</td></tr>
<tr><td>履修条件</td><td>特にありません。</td></tr>
<tr><td>履修上の注意点</td><td>特にありません。</td></tr>
<tr><td>授業内容</td><td>
<table>
<tr><th>回</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>①授業テーマ
　ガイダンス
②授業概要
　授業の大まかな概要と授業計画、成績評価の方法などについて知ることができる。また研究テーマをどう選ぶのか、プレゼンはどのような手順で行うのか、テキストや資料をどう読めばよいのかといった点も知ることができる(E1,H1,H2,I1,I2,I3,K1,K2)。
③予習(60分)
　シラバスを事前に読む。
④復習(60分)
　授業計画、成績評価方法などについて改めて確認をしておく。</td></tr>
<tr><td>2</td><td>①授業テーマ
　危機管理に関するグループワークとプレゼン
②授業概要
　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。
③予習(60分)
　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備
④復習(60分)
　プレゼンの問題点の洗い出し</td></tr>
<tr><td>3</td><td>①授業テーマ
　危機管理に関するグループワークとプレゼン
②授業概要
　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。
③予習(60分)</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

	文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
4	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
5	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
6	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
7	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
8	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) プレゼンの問題点の洗い出し
9	①授業テーマ 危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 文献の講読とリサーチ、プレゼン準備

	④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
10	①授業テーマ 　危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
11	①授業テーマ 　危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
12	①授業テーマ 　危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
13	①授業テーマ 　危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。 ③予習(60分) 　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
14	①授業テーマ 　危機管理に関するグループワークとプレゼン ②授業概要 　危機管理の4領域に関する任意の文献を選択し、課題を設定する(F1,F2)。さらにグループワークによるリサーチ(E1)と分析(H1,H2,I1,I2,I3)に基づきプレゼンを行う(K1,K2)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(60分) 　文献の講読とリサーチ、プレゼン準備 ④復習(60分) 　プレゼンの問題点の洗い出し
15	①授業テーマ 　前期の振り返り ②授業概要 　前期のグループワークについて、リサーチ(E1,H1,H2,I1,,I2,I3)、プレゼン(K1,K2)の観点から振り返り、後期の基礎演習への課題を設定する(F1,F2)。 ③予習(60分) 　グループワークにおける課題をまとめておく。 ④復習(60分) 　後期に向けて自分なりの改善点をまとめておく。

関連科目	①演習系科目としては、「自主創造の基礎１・２(RMGT1215,RMGT1216)」・「危機管理基礎演習Ⅱ(RMGT2602)」・「ゼミナールⅠ～Ⅳ(RMGT4601,RMGT4602,RMGT4603,RMGT4604)」・「危機管理特殊研究１～４(RMGT4611,RMGT4612,RMGT4613,RMGT4614)」と関連する。とくに、「ゼミナールⅠ～Ⅳ」への橋渡しの意味をもつ。②講義科目については、政治学1(RMGT1139)、国際政治学(RMGT3552)、国際法(RMGT3451)。
教科書	渡邊啓貴『アメリカとヨーロッパ』中公新書、2018年、ISBN978-4-12-102504-3。 マントン、D.、ウェルチ、D.A.(田所唱幸/林晟一共訳)『キューバ危機-ミラー・イメージングの罠』中央公論新社、2015年、ISBN978-4-12-004718-3。 磯田道史『天災から日本史を読みなおす-先人に学ぶ防災』中公新書、2018年、ISBN978-4-12-102295-0。 伊東寛『サイバー・インテリジェンス』祥伝社新書、2015年、ISBN978-4-396-11434-3。
参考書・参考ＵＲＬ	授業の中で適時紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先　開講時に告知します。 ■オフィスアワー　火曜日・金曜日昼休み。アポイントを取って下さい。
研究比率	■危機管理領域との対応 グローバルセキュリティ領域40%：パブリックセキュリティ領域30%：災害マネジメント領域20%：情報セキュリティ領域10% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.